

東愛知

光り輝くヨット100艇

蒲郡ラグナマリーナ あすから電飾点灯

土日曜はナイトクルーズも予定

蒲郡市海陽町のヨットハーバー「ラグナマリーナ」は、27日から利用者の約100艇を使ったイルミネーションを始め、来月1月7日まで、冬の風物詩。ヨットに取付けた約50万球のLED電球の光が水面に反射し、幻想的な世界を作り出す。マストと船体を

結んだ三角ツリー型のイルミネーションは、マリナーならではの光景で、ウッドデッキから見ることが出来る。

また、期間中の土日曜はクルージング会社「ピラノマリンサービス」が運行する「スナメリ号」に乗って海上からイルミネーションを見るクルージングが予定されている。

ラグナマリーナの担当者は「約100艇が一斉に光り輝くのは珍しいので、見に来てほしい」とPRする。

【林大朗】

昨年のラグナマリーナのイルミネーション



中日

退職の蒲郡署長、後進に心得



中学生向けに授業をする小池署長(左)。逮捕術も披露した蒲郡市形原町で

縦割りにならずチームで働く
新聞や本を読む

二十六日に定年退職する蒲郡署の小池勝孝署長(左)は、昨年三月の署長就任以来、刑事生活の経験などをまとめた仕事の心得「署長から署員へのお願い七則」を署内に掲示している。その一つが「新聞や本などを読む」。日ごろから情報を集め、会話の引き出しを多く持つことが大切と、「知的好奇心を強く持つ」と後輩に呼び掛けている。

お願ひ七則はA4判の紙にまとめ「署にかかってくる電話は三コール以内に取り」「常に被害者、相談者の気持ちを考える」「(縦割りの)セクト主義にならず、チームで働く」などと記している。

高浜市生まれの小池さんは十九歳で原警の警察官となり、三十、四十代は捜査一課に在籍。殺人など数多

中日

紙製のヨット 親子で作ろう

あすから蒲郡で催し



紙製のヨットを作るイベントを企画した水野さん(蒲郡市役所で)

紙製のヨットを組み立てる体験イベント「おやこでヨットをつくらう」が二十七、二十八日、蒲郡市海陽町の商業施設フェスティバルマーケット屋外広場で開かれる。参加無料。

同市役所で七月にインターネット(就業体験)をした名古屋学芸大メディア造形学部四年の水野祐利さんが企画した。

両日開かれる工芸品の販売会「海辺のハンドメイドマーケット」の会場内にブ

中日

ガスの取り扱い方 サーラ社員が指導



蒲郡市水竹町の市消防本部で今月、ガスの取り扱い

方々を学ぶ訓練があり、消防職員がサーラエナジー(豊橋市)の社員から教わった。

火災や救助現場でガス漏れによる二次災害を防ぐために、正しい知識を身に付けてもらうと実施し、九十人が参加した。講義でサーラエナジー社員が都市ガスとLPガスの性質の違いを説明。「都市ガスは空気よりも軽く、室内の上部にたまる。LPガスは空気よりも重いので、排出する際は床面の窓を開ける必要がある」と話した。

実技では火災現場で延焼を避けるため、LPガスのボンベを移動。消防職員はバルブを閉めてガスを止めた後、ホースを取り外して、ボンベを運ぶ手順を確認していた。

中日

「東三河鈴木政経塾」来年で終了

蒲郡市長や衆議院議員などを務めた鈴木克昌さんが「東三河鈴木政経塾」が、開講から四年となる来年六月で活動を終える。政治や経済、科学などの専門家を招いて三月月に一回のペースで講義を開き、これまでに計十二回。残り二十七回と来年三月、六月の二回となり、最終回は「二〇三〇年 後世への伝言」と題して塾長が講義する。(西山輝一)



最終講義への思いを語る鈴木克昌さん(蒲郡市で)

政経塾は一七七年に政界を引退した鈴木さんが「地域への恩返しをしたい」と考え、一八年につくった。名譽塾長には以前から親しかったスズキ会長(当時)の鈴木修さんが就任。入塾条件はなく、幅広い分野で活躍できる人材育成を目指した。

「石の上にも三年」との思いから、三年間続けようと考えていた(克昌さん)と言ったが、開講前に修さんに相談すると「それは短い」と助言を受けた。「では五年」と応じた克昌さんに対して、「間を取って四年はどうだ」と修さんが提案。二年まで活動することになった。

講義は蒲郡や豊川、新城市などで開き、初回は三重県知事などを務めた北川正恭・早稲田大名譽教授が登場。その後もタキヒヨー名誉顧問の滝富夫さん、豊橋技術科学大の大西隆学長ら(当時)を招き、塾生は十八十代の約四百人に増えた。

二十七日は午後一時から蒲郡商工会

残り3回「次世代の観光」や「2030年」テーマに

講義は蒲郡や豊川、新城市などで開き、初回は三重県知事などを務めた北川正恭・早稲田大名譽教授が登場。その後もタキヒヨー名誉顧問の滝富夫さん、豊橋技術科学大の大西隆学長ら(当時)を招き、塾生は十八十代の約四百人に増えた。

二十七日は午後一時から蒲郡商工会

最終回で講演する鈴木塾長は「人工知能(AI)の発達やコロナ禍で加速するデジタル化など、世の中の変化に対応しながら、未来の世界を楽しんでほしいと伝えたい」と意気込む。

講義はいずれも参加無料で、事前申し込みも不要。二十七日はオンライン配信もある。(東三河鈴木政経塾事務局 070(1618)4877)